

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後の期待できる
1:取組が不十分である

学校関係者意見等	評価Ⅲ
<p>1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む</p> <p>去年に比べて、随分児童が落ち着き、それに伴って児童の授業に対する向き合い方が変わってきたように思われる。教師の授業づくりに変化が見られたため。 図工展を見学させて頂きましたが、それぞれ学年で創造性あふれる作品が見られました。 放課後学習や10分間の帯タイムで授業以外での学習時間が増え、学力の定着や向上にも繋がっている→マンネリ化に注意していれば今後も効果が期待できます。</p>	3
<p>2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る</p> <p>教師の児童に対する寄り添いが見られた。日々児童の変化に目配り、心配りをしてほしい。 いじめのない明るい学校を目指して欲しい。 この項目の取り組みは数年前からあまり変化がないように思います。生活チェックシートの見直しなども毎年言われている。心の教育という点ではドキュメント番組視聴などで心の成長を促せないでしょうか。図書室での読み聞かせも。</p>	3
<p>3 家庭・地域・学校の連携を深め、活気に満ちた学校園づくりに取り組む</p> <p>PTAとの連携を大切にし、ホームページ、学校だより、学年だよりの充実を図って欲しい。 家庭・地域・学校の連携は6月の地域懇談会や今年度初の取り組みとなるボランティア感謝の会など、組織間で顔合わせできる場を作ることで、関係者の意識も高まると思いました。学校側のアピールも大切です。</p>	3
<p>4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る</p> <p>訓練を通して身につけさせる避難の仕方やひとりの時でも対応できる知識を見つけさせるため、教師ひとりひとりの日々の危機管理能力を高めていくよう望む。 登下校中の様子に危険を感じることもある。 防災・避難訓練は、毎年先生や児童が変わってもスピーディーにできるように徹底して欲しいのですが、あまり向上していないと思うので、もうひと工夫欲しいところです。</p>	3
<p>■教育目標</p> <p>教育目標の実現については、教師ひとりひとりの取り組みが大切であるが、校長・教頭の日々の教育活動によるところが大きい。目標達成に向けて熱く語りかけて欲しい。 学校全体が落ち着きを取り戻して、そのことが教育目標の実現に近づいていると思います。</p>	2.5
<p>■研究テーマ</p> <p>学校としてのルールの徹底を図り、個性を大事にしながら、授業に取り組んで欲しい。また、良い成果が出たときは、教師全体に広めて欲しい。 この項目は、私には評価しがたいところがあります。</p>	3
<p>■環境・特活・生徒指導</p> <p>生徒指導を第一に考え、充実した学校生活を送れるよう教職員が一丸となり、頑張ってもらいたい。 数年前と比べて、緑化環境が素晴らしく改善されました。</p>	3
<p>評価項目 (A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善)</p>	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	B
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	C